

ウイルスに負けるな！学校での取り組み

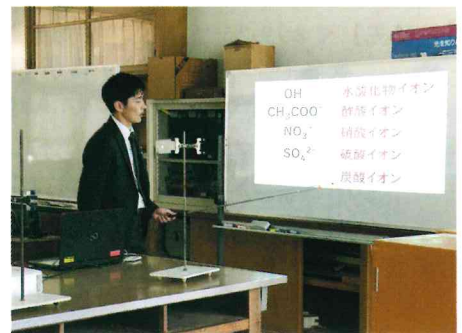
新

新型コロナウイルスの影響を受け、鶴翔高校では4月22日から5月8日まで臨時休校となりました。新型コロナウイルス感染症対策として、本校の行った取り組みを2つ紹介します。

① オンライン授業

臨時休校による授業の遅れを少しでもなくし、基礎学力の定着を図るため、アカデミア系列の生徒を対象にオンライン授業が行われました。

活用したのは、ZOOMやYouTube、LINEなどのアプリケーションソフトです。インターネット授業を実際に受けた総合学科2年の的場翔さん（鶴川内中出身）は「休校期間中に一人で勉強するよりも、みんなと一緒に勉強ができたので楽しく課題に取り組むことができた。同じ空間に人がいないせいか、質問や発言がしやすかった」と語ってくれました。学習のサポート効果だけでなく、朝に授業を行うことにより、生活リズムを整える効果もあったようです。



② マスクコンテスト

4月20日（月）、食品技術科3年の生徒たちが課題研究で制作したマスクのコンテストが行われました。

制作方法や費用、要した時間、工夫した事などを発表した後、投票を行いました。どのマスクもさまざまな工夫がなされていて素晴らしいものでしたが、その中で浦田優希奈さん（三笠中出身）と松木葉さん（三笠中出身）の2人が最優秀賞に選ばれました。浦田さんは、「私は、今までマスクを作ろうと考えたことはありませんでした。しかし、自分の命を守るために、マスクは必要だと思い制作しました」と、感想を述べてくれました。みんなでコロナウイルスと戦っていきましょう！



スターゼンミートプロセッサー株式会社 来校

4

月27日（月）、スターゼンミートプロセッサー株式会社から、西田専務取締役、三好常務取締役兼工場長、川畑総務課長が来校されました。

スターゼンミートプロセッサー株式会社と鶴翔高校は、地域にある企業と学校が協力して、地域の人材育成や地域の課題の研究活動、地域の活性化に貢献していくことを目標に活動しています。

今回は、三好常務取締役兼工場長が新たに赴任されたごあいさつがあり、また、学校が育成して出荷した肉の一部を、陸上部の生徒たちに提供していただきました。ありがとうございました。鶴翔高校は、今後とも地域の行政・企業とともに連携を深め、地域の発展に貢献していきます。

